

(解答はすべて解答用紙に記入しなさい)

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

1 僕は発見した。シジュウカラの言葉は鳴き声だけではない。なんと、「ジェスチャー」まであるのだ！
 「鳥にジェスチャー？」と不思議に思われる方もいるかもしれない。それもそのはず。ジェスチャーとは、手を左右に振って「バイバイ」したり、親指をあげて「いいねー」したり、手や腕の動きを使った意思疎通だ。一見、鳥に手や腕は見当たらない。
 実は、シジュウカラの場合、「翼」でジェスチャーするのである。翼をパタパタ小刻みに震わせると、「お先にどうぞ」の意味になる。人間の場合、手のひらを見せて「お先にどうぞ」と伝えるが、シジュウカラの場合はそれが翼のパタパタなのだ。

巣箱で繁殖しているシジュウカラのつがいを観察していて、翼のジェスチャーに気がついた。毎日、十時間くらい巣箱の前で張り込み調査をしていたことがあったのだが、その中で自然に「あのしぐさは、お先にどうぞ、って言ってるんだな」と理解していた。

シジュウカラの場合、オス、メスの両方とも巣箱のヒナに餌を運ぶ。ヒナの数は七〜十三羽とたくさんなので、子育ての時期はオスもメスも大忙しだ。朝から夕方まで、休むことなく巣箱のヒナに餌を運び続ける。

だいたい七割くらいの餌やりは、親鳥が単独でおこなうものだ。一羽で餌を運んできて、一羽で巣箱に入る。ヒナは餌をもらうとその直後に決まって糞をするので、親鳥はそれをくわえて巣箱を出て、遠くまで捨てに行く。

残りの三割くらいはオス・メスで一緒に餌を持ってくる。タイミングを合わせることもあれば、偶然同時に運んでくることもあるようだ。

2 そうなると一つの問題が生じる。巣箱の入り口はおよそ三センチと狭いので、二羽で同時に入ることができないのだ。何も合図をせずに入ろうとすると、巣箱の入り口で「ごっつんご」してしまうかもしれない。鳥だっ「ごっつんご」は避けたい。

そこで役に立つのが翼のジェスチャーだ。二羽で餌を運んできた場合、片方の親鳥が翼をパタパタすると、もう片方が先に巣箱に入るのだ。つまり、翼のパタパタで「お先にどうぞ」と言うのである。

3 この発見は、僕にとっては当たり前でも、他の動物学者にとってはまったくそうではなさそうだった。本や論文を読んでわかっ

たが、霊長類学者の大半は、ジェスチャーをするのはチンパンジーやボノボなど、ヒトに近い動物だけだと考えているようなのだ。A、鳥類学者は「翼は飛ぶため」と思い込み、ジェスチャーに使うだなんて誰も気づいていないのである！

さらによく調べてみると、チンパンジーやボノボでのジェスチャー研究のほとんどは、「研究者にはジェスチャーになっているように見えました」とか、「あの腕の動きは○●という意味になっているように見えました」などという主観的なものであり、4 なデータに基づいていかなかった。きちんとデータをとって、野生の類人猿において、あるしぐさがジェスチャーになっていることを明らかにしたのはごく少数。たとえば、チンパンジーが仲間と毛繕いする時に、毛繕いしてほしい体の部位を指で搔いて教えるという研究。そうした単純なジェスチャー以外、ちゃんとデータを集めた研究はほとんどないのだ。

⁵ シジュウカラのジェスチャーの方がよっぽどすごい高度である。翼の動きで、ちゃんと「意味」を伝えているではないか。そう考えて、僕は本格的にデータを収集することにした。

八個のシジュウカラの巣箱の前に数時間張り込み、親鳥のヒナへの餌やりをおよそ三百二十回観察した。二台のビデオカメラを仕掛け、二名の観察者でできるだけ詳細に行動を記録していった。

観察を繰り返すといくつかのパターンが見えてきた。まず気づいたのは、親鳥は単独で餌やりしてきた時は翼をバタバタさせることは一度もなく、つがい相手と同時に餌を運んできた時にだけ、巣箱の近くの枝に止まって翼をバタバタさせることだ。

バタバタさせるのはいつも決まってつがい相手が見える場所。つがい相手の方に体を向けて、バタバタとやるのである。

B、それを見たつがい相手のシジュウカラは、決まって先に巣箱に入る。一方、バタバタした方の親鳥は、つがい相手が巣箱に入るのを確認すると翼の動きを止め、そして二番目に餌やりに入る。

シジュウカラが巣箱の近くに来てから、6 ことがわかったのだ。やはり、翼のバタバタは「お先にどうぞ」という意味になっている。すると、しなかつた場合と比べて、

(出典 鈴木俊貴「僕には鳥の言葉がわかる」小学館による)

問一

 A・Bに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア AⅡそして BⅡゆえに
- イ AⅡだから BⅡさらに
- ウ AⅡ一方 BⅡすると
- エ AⅡつまり BⅡところが
- オ AⅡあるいは BⅡしかし

問二

~~~~線「観察者」は「観察+者」という組み立てになっています。これと同じ組み立ての三字熟語を次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 未解決
- イ 市町村
- ウ 旧校舎
- エ 小休止
- オ 救急車

問三

~~~~線1「鳥にジェスチャー？」と不思議に思われる方もいるかもしれない」とありますが、筆者がそう考える理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 手や腕を使った意思疎通であるジェスチャーは、手や腕がない鳥にはできないと一般に考えられるから。
- イ 人間より知能が発達していない鳥には、高度な意思疎通であるジェスチャーは難しいと人々は思うから。
- ウ 鳥は異なる鳴き声で意思疎通するため、わざわざジェスチャーを用いる必要がないと普通は考えられるから。
- エ 鳥が翼で「バイバイ」することはできても、「いいねー」はまさかできないだろうとみんな考えているから。
- オ ヒト以外ではチンパンジーやボノボだけに使われるジェスチャーを、鳥が使うとは誰も思わないから。

問四 ― 線2「一つの問題が生じる」とありますが、どのような問題ですか。最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 相手の鳥の合図を見逃してしまいかもしれないという問題。
- イ 単独での餌やりを親鳥ができなくなるかもしれないという問題。
- ウ ヒナが餌を取り合つて衝突するかもしれないという問題。
- エ 巣箱に同時に入れず二羽がぶつかるかもしれないという問題。
- オ 狭い巣箱に二羽ともは入れないかもしれないという問題。

問五 ― 線3「この発見」とありますが、どのようなことを発見したのですか。説明しなさい。

問六 4に入る語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 一時的
- イ 部分的
- ウ 消極的
- エ 客観的
- オ 圧倒的

問七 ― 線5「シジュウカラのジェスチャーの方がよっぽどすごいし高度である」とありますが、なぜそう言えるのですか。五十字以内で説明しなさい。(句読点等記号も一字に数える。)

問八 6に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 全く時間的に差はない
- イ 早く巣箱に入つてすぐに出て行く
- ウ ゆっくり巣箱に入るがすぐに出て行く
- エ かなりゆっくりと巣箱に入る
- オ 断然早く巣箱に入る

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

次の日、お母さんは午前中、お休みを取ったらしくて、ぐうぐう寝ていた。

わたしは朝から気分が悪かった。昨夜の野村さんの来訪にどんな意味があるのか、ずっと考えていた。わたしがのらりくらりと食事を避けているのにしびれを切らして、ふたりで無理やり次の状況に進めようとしているのだろうか。よくわからないし、正直、考えたくない。

学校に行つてからも気が重くて、たぶん、ずいぶんいらついてもいた。

だから、かもしれない。いつもなら軽く聞きながせるはずの杏の言葉に、ついまともにいいかえしてしまった。

二時間が終わったあと、少し長い休み時間のことだ。

わたしは杏のとなりで、グループのおしゃべりに参加していた。社交性のおぼけみたくない杏は、いつのまにかこのクラスで最も華やかなグループをつくりあげ、その中心に君臨していた。わたしは一年のときにちょっと杏と仲が良かったという、ただそれだけの理由で、なんとなくその末席にいた。

たぶん、他の子たちは、なんでわたしがグループの一員なのか、杏がわたしを切つてしまわないのか、不思議だったはずだ。みんなで遊ぶ約束をしてもひとりだけ行かないし、昼休みもグループから離れていつも図書室だ。そんなやつ、いつ排斥されてもおかしくないのに、杏はいつものごとく何考えてるのかよくわからない能天気な笑顔で、無邪気にわたしをフォローしてくる。「心愛はすごいんだよ、ボクシングやつてるんだよ」、「家事とかもすごいがんばってるんだよ」、「わたしたちとちがつて、遊ぶ時間なんかないんだよ」……よく考えるとフォローじゃなくて、デイスってるだけかもしれないけれど。

その日、グループの会話の中心は、クラスの辻さんのことだった。

辻さんは背が低くてやせていて、声も小さくていつもひとりである。友だちがいない、勉強ができない、片方の親がいない、という杏が好きなポイントを三つも抱えている辻さんは、最近、もっぱらみんなの話のタネだった。

辻さんのしゃべり方がどうのこうの。辻さんの机につぶす格好がなんのканの。いやだなあ、と思いつつ、適当に a を打っているわたしは、結局、辻さんから見たら同じ穴のムジナなんだろう。早く話題変わんないかな、と思っていると、「そういうえば、心愛が行つてるジムにさ、有名な子いるんですよ?」

目をきらきらさせながら、杏がわたしにきいてきた。

「えっ」

「山内さんに聞いたの。女子ボクシングの子で、なんかすごい強いんだけど、学校行かずにボクシングばかりやってるんだって」⁴

ときっとした。

「えっ？ やばっ。親、何もいわないの？」

べつの子が顔をしかめた。

「名前、なんていったっけな。男か女か、よくわかんないような名前で」

「あ、わたしも聞いたことある」

またべつの子がくすくす笑いながらいう。

「その子、学校で大暴れして、男子をなぐったらしいよ」

「なにそれっ。昭和なの？」

杏が、けらけら声を出して笑った。こめかみがすうっと冷たくなる。どうしてこの子は、と思った。だれかの大切なものを、い

つも笑顔でかたんに傷つけるんだろう。

「野蛮だねー。心愛、気をつけなよー」

みんながいつせいに笑った。頭のなかが一瞬で沸く。

「こはくは、そんな子じゃないよ」

思ったより強い声が出た。しまった、と後悔したけど、遅かった。たちまち、グループに **A** した空気が流れる。

「ごめん」

杏が冗談っぽく目を閉じて、両手を顔の前で合わせた。

「心愛ー、怒らないでー」

冷えていた空気がちよっとだけゆるんだ。

息をつき、わたしは無理やり笑った。

「怒ってないよ。なんで杏があやまるわけ？」

ウソの笑顔に、ウソの言葉。ウソの仲間に、ウソの自分。 **5** いったいわたしは、なんのために学校に来ているんだろう。

放課後、いつものようにジムへ向かった。

とにかく無性にサンドバッグを打ちたい気分だった。汗を流して、腕に思いきり衝撃を感じたい。家のことも、学校のことも、

全部頭から追いだしたかった。

歩道橋の近くまで行ったところで、だれかがものすごいスピードでジムの飛びだしてきた。ぶつかる寸前でおたがい立ちどまり、

見ると、重森くんだった。

「あ、立川さん」

重森くんは小さく口を開けて、ぱちぱちと目をしばたいた。

「また、こはくにどなられたの？」

わたしがたずねると、重森くんは力なくうなずいた。

「今日は怒りを鎮めるムーンストーンを持ってっただんですけど、なんか、よけいに怒らせちゃったみたいで」

また石か、と思った。じゃ、といてて **B** 立ちさろうとした重森くんは、

「待って」

ちらりと腕時計を見て、声をかけた。

「ききたいことがあるんだけど、時間ある？」

重森くんは少し不安そうにこちらを見て、こくりとうなずいた。

わたしたちは近くの公園に入った。

よく使うスーパリーの反対側、桐野ボクシングジムから二百メートルほど歩いたところにある川沿いの大きな公園だ。芝生では小学生のサッカーチームが練習していた。わたしたちは入口近くのベンチに並んで座った。

「重森くん。前から思ってたんだけど」

なぜ、こんなにしつこくジムに現れ、こはくを学校に引きもどそうとするのか。考えると、可能性はひとつしかない。

「もしかして、こはくのこと好きなの？」
「ちがいます」
重森くんはきつぱりと否定した。

(出典 蒼沼洋人『光の粒が舞いあがる』 P H P 研究所による)

問一

□に入る言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 手 イ 芝居 ウ 相槌 エ 水 オ 胸

問二

〰線 b 「同じ穴のムジナ」の意味として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 外見は異なるが、考えは似ている。
イ 悪事がばれるのを恐れ、一緒に隠れている。
ウ 仲が悪いのに、表面上は仲良くしている。
エ 協力し合って目標を達成する仲間同士である。
オ 一見別のようであるが、じつは同類である。

問三

□ A・Bに入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア AⅡはらはらと BⅡきびきびと
イ AⅡだらっと BⅡふらふらと
ウ AⅡほのぼのと BⅡとぼとぼと
エ AⅡしらっと BⅡしょんぼりと
オ AⅡほんわかと BⅡるるんと

問四

〰線 1 「いつもなら軽く聞きながせるはずの杏の言葉」とは、どのせりふを指しますか。本文中からぬき出し、最初の五字を答えなさい。(句読点等記号も一字に数える。以下の問いも同じ。)

問五 〰線 2 「社交性のおぼけみたくない杏」とはどういうことですか。その説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 杏は人付き合いが極端に上手であるということ。
イ 杏は人付き合いをまったくしないということ。
ウ 杏は人付き合いを怖れているということ。
エ 杏は人付き合いに慣れているということ。
オ 杏は人付き合いに気を配っているということ。

問六 〰線 3 「なんとなくその末席にいた」とありますが、「わたし」の状況の説明として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア リーダー格の杏と仲良しなので、グループの中心で自信を持ってふるまっている。
イ 華やかで人気があるので、グループのリーダー格の杏とも対等にわたりあっている。
ウ リーダー格の杏と仲がよかったというだけで、居心地が悪いままグループにいる。
エ かつてクラスで孤立していたが、杏のおかげで今はグループにいて安心している。
オ 杏の言うことに従うことで、なんとかグループに残ろうと必死になっている。

問七 〰線 4 「どきっとした」とありますが、なぜですか。その理由として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア 心愛もよく知らないのに、杏がこはくについてくわしく知っていたことに驚いたから。
イ こはくはボクシングが強いと杏が突然ほめ始めたことが、意外でうれしかったから。
ウ こはくのことを杏が突然話のタネに始めたことに驚くと同時に動揺したから。
エ 心愛がボクシングをしていることを杏が他の友達にばらしたことに驚いたから。
オ 教室にいるこはくの悪口を杏が堂々と言い始めたことに驚いて、気が動転したから。

問八 〰線 5 「いったいわたしは、なんのために学校に来ているんだらう」とありますが、このときの「わたし」の気持ちを四十字以内で説明しなさい。

☐ ③ 次の各問いに答えなさい。

問一 次の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 会社のギョウセキが上がった。
- ② 罪をコクハクする。
- ③ グンシユウが広場に集まる。
- ④ 薬で病気がナオった。
- ⑤ 練習で手をフシヨウした。

問二 次の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- ① 事件の真相がわかった。
- ② 土木の仕事につく。
- ③ 会議で決を採る。
- ④ この滝は落差が大きい。
- ⑤ 気象予報を伝える。

